

## 第49回 100年史誌部会 議事録(案)

日時： 2010年5月26日(水)16時10分～17時20分

場所： 管理棟2階 第1応接室

出席者： 横山孝男部会長、高畑保之、栗野宏、松田則男、大町竜哉、奥山澄雄、新関久一、神戸士郎、山崎洋一郎、綿貫藤雄、片山政弘各委員、小室秀一編纂室委員、斎藤ひろみ編纂補助員、小関栄助氏

欠席者： 小山明夫、小池邦博各委員

### 【配付資料】

[資料49-1] 「今月の話題」の今後の進め方について(改訂) [A4判/1頁]

[資料49-2] 「今月の話題」一覧 [A4判/2頁]

[資料49-3] 電子情報系部局史 [A4判/26頁]

[資料49-4] 百年史(ヒストリー)の再構成(改訂版) [A4判/2頁]

[資料49-5] 「山大工学部の百年と米沢」(横山部会長) [A4判/12頁]

[資料49-6] 大竹多氣展の目的(小関栄助氏) [A4判/1頁]

[資料49-7] 赤塚孝雄元工学部長からのコメント(pdfファイル「産学一医工」付き) [A4判/2頁]

### I) 報告事項

#### 1. ホームページの更新

前回の部会以降にアップロードされた「100年史誌部会第47回議事録公開」および「山形大学工学部創立50周年記念 記念行事アルバムその1」の2件について、斎藤編纂補助員が口頭で報告した。

#### 2. 「今月の話題」について

[資料49-1]および[資料49-2]により、小室編纂室委員が、前回部会で報告していなかったこと、委員の交代(結城委員から綿貫委員へ)があったこと、次回の担当が大町委員であること、これまでの「今月の話題」の一覧表をあげたこと、「今月の話題」を今後どうするか検討願いたいこと、の5点について報告した。

### II) 協議事項

#### 1. 百年史

##### ①百年史の構成イメージについて

小山委員(欠席)から電子情報系部局史の原稿が提出された。[資料49-3]

栗野・高畑両委員が、[資料49-4]により百年史の再構成について改訂案を説明した。横山部会長の巻頭総括論文に加えて、大竹多氣に関する小関氏の特別論文、明治政府の高等教育政策に関する小室編纂室委員の特別論文、『青春』詩碑成立に関する渡辺元教員の特別論文を掲載しようというものである。

それを受けて、山崎委員から「5月4日の100周年記念式典の記念講演を工業会誌に掲載する予定だが、その後百年史に掲載することはできないか」との提案があった。

これに対し、横山部会長が「提案の特別論文のようなものを特別なアングルから書いてみたいという方を募ってはどうか」と発言した。

また、横山部会長は「通史第13章『その他』のところ、中堅教員に現状のトピック的な原稿を書いていた

だいたらどうか」と提起した。

これに対して、「通史の一部としては書きにくいのではないか」との異論が出された。それを受けて、「補遺ということではどうか」、「特別論文としてはどうか」などの提案が出され、横山部会長は「教育プログラム長に各分野の現状の執筆をお願いしてはどうか」と改めて提起した。

以上の意見は、今後ヒストリー班で煮詰めることとした。

## ②山大工学部の百年と米沢

横山部会長が[資料49-5]により、4月27日の「まちづくり米沢塾」で標記のタイトルで講演を行ったことを報告した。

横山部会長によれば、「この内容は当部会としてオーソライズしたものではないが、自校史を学生諸君に示すべきとの考えから、機械システム工学科の導入教育で使った題材である。小関氏をはじめ各方面から提供いただいた資料類に依拠している。史誌編纂室のホームページが充実しているのもそれに依っている」とのこと。

## 2. 記念物

### ①記念物検討班の経過報告

神戸委員が口頭で「奥山、小山両委員と3人で分担とスケジュールを決めた」と打ち合わせの結果を次のように報告した。「奥山委員が大竹初代校長関係の資料、神戸委員がその他の資料、小山委員が電子ミュージアムを担当する。夏までに資料収集を進め、11月までに資料を検討し、12月までに報告書を作成する。」

横山部会長が記念物検討班の各委員に謝意を表した上で、工学部図書館内に設置準備中の資料室について、米竹館長、三角係長との協議の状況を報告した。「大竹初代校長に関する資料を夏までにリストアップして、図書館側と具体的な協議に入りたい」とのこと。

小関氏も謝意を示し、「お孫さんの俊樹氏が手許におきたい遺品もあるので、足繁く通って連絡を密にとるようにしたい」と発言した。

## 3. 100周年記念誌

### ①100周年記念誌についての評価・反響

松田委員が「概ね好評をいただいている。ただし、赤塚元学部長からはコメントをいただいている」と報告した。つづいて新関委員が、「情報工学科の創設」「産研の役割と活動」「博士課程の設置」「県の産業動向と大学」「医学工学連携」などについて「もう少し明確に記載しておいていただければよかった」との赤塚元学部長からのコメントを紹介し、「可能であればヒストリーに反映されたい」と述べた。[資料49-7]

これに対し、栗野委員が「ヒストリーでは歴代学部長に“編集参与”として校閲をお願いしてはどうか」と提案し、その依頼文案を栗野委員が起草することになった。

### ②記念誌の配付について

5月4日の記念式典の受付では、本来配付される予定にない方に配付されたり、配付されるべき方に配付されなかったりといった混乱が一部生じた。

また、学内(教職員)への配付、寄稿者への配付についてはいまだ未定である。松田委員は「寄稿者からは『ほしい』と言われており、配付のために善処をお願いしたい」と発言した。

### Ⅲ)その他

#### 1. 大竹多氣展について

小関氏が[資料49-6]により「大竹多氣展の目的を定めたい」と発言した。展示パネルを作成して、会津でも開催するなど貸し出しを可能にしたいとのこと。10月の写真展開催に向けて実行委員会に提案することになった。

#### 2. 次回(第50回)の会議は6月23日(水)16時10分から開催する。(後日、会場は重文2階会議室と決まった。)

以上

第1稿：2010年6月19日、粟野(記)